

事業評価シート（平成25年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	花とみどりの推進団体育成事業		
事業担当	都市整備部 みどり公園・水辺課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'03	基本目標3 人と自然が調和した、やすらぎのあるまち	
	'01	①〈自然との共生〉四季を通じて豊かな恵みを与えてくれる自然と親しむ	
	'01	1 自然を守るしくみづくりを進める	
根拠法令等			
対象・受益者	市民、公園愛護会会員	事業期間	
委託・協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO ○その他】【協働：公園愛護会】		
	目的・目標		事業の概要
市民の緑化意識が高まり、自ら地域緑化に取り組んでいます。		地域緑化の推進及び緑化意識高揚のため、モデル団体や公園愛護会を育成・支援します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	愛護会ニュース発行等			単位	回
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標	2	2	2	2	
	実績	1	2	2		
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	公園愛護会登録団体数			単位	団体
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標	147	149	150	151	
	実績	149	149	150		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標					
	実績					
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成25年度の主な取組と成果						
公園愛護会145団体へ交付金、公園愛護会連絡協議会に補助金を交付しました。協議会事業で総会（1回）、役員会（4回）を開催、市外公園視察研修会（子ども自然公園・生田緑地、参加者104名）、市内公園視察研修会（市内公園4箇所、参加役員8名）、補助物品支給事業（ごみ袋の配布）の実施、愛護会ニュースを2回発行しました。このような活動を通して、公園愛護活動の推進を行うとともに、公園愛護会の育成及び新規設立に貢献しました。						
平成25年度の検証結果	A：成果があがった					

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価	
事業分析	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	公園清掃等を行うことにより、環境美化への意識向上、会員相互の情報交換の場等、まちづくり・ひとづくりの一端を担う事業であることから、必要性は高いと思われます。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	公園愛護会を育成することにより、市内の良好な公園環境が維持され、市民が快適に生活できることから、有効性は高いと考えられます。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	「地域の公園は地域の手で守り、育てる」という公園愛護精神の普及に貢献し、地域の環境保全にも繋がる活動であることから、本事業の目的・対象・内容は妥当であると考えられます。	○ 高 ● 中 ○ 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	維持管理経費の増が今後も続くと予測されますが、愛護会に公園の清掃や軽微な施設の見守り等を行っていただくことで、経費削減の可能性が考えられます。	○ 高 ● 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析		愛護会会員の高齢化による活動時の人員確保や活動の継続性が大きな課題です。		

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 予算額
事業内容		交付金の支出や草花の提供	交付金の支出や草花の提供	交付金の支出や草花の提供	交付金の支出や草花の提供
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	60	30	29	51
	一般財源	5,768	5,821	5,599	5,818
事業費 (A)		5,828	5,851	5,628	5,869
執行率 (%)		95.28	95.50	96.75	
内訳	職員 (人)	0.62	0.49	0.50	0.73
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		5,025	3,928	3,974	5,704
フルコスト (A+B)		10,853	9,779	9,602	11,573

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成27年度の取組方針	公園愛護会連絡協議会と連携し、未設立の公園へ愛護会の新規設立を働きかけるとともに、愛護会活動充実のため、交付金の運用見直しに向けた、検討・協議を行います。
課長コメント	美化推進及び安心・安全に利用できる公園づくりを市民と協働で行うため、市内全公園の愛護会結成に向け働きかけていきます。